

視察ツアー

持続可能な森林の活用をめざす スウェーデン2003 冬



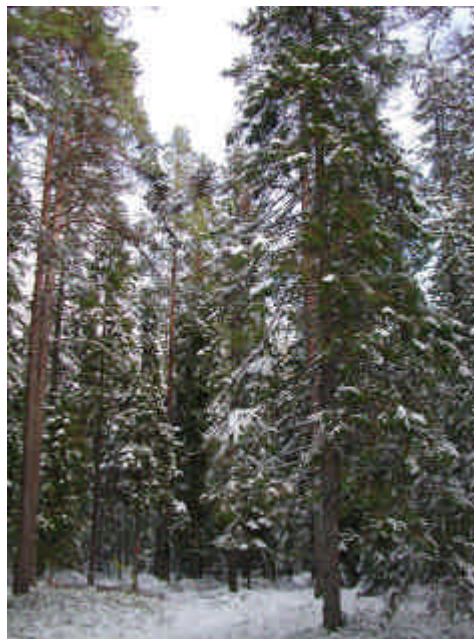
日本とほぼ同じように、国土面積の約2 / 3を森林が占めるスウェーデン。この国では自然環境の厳しい冬を越すために、雪の中に太陽エネルギーを貯め込んだ森林資源を活用してきました。現在のスウェーデンは、こうした森林を含む自然の循環を活かして、持続可能な社会づくりを国策に掲げる環境先進国としても知られています。今回のツアーでは雪と森に囲まれた冬のスウェーデンを訪れ、林業経営や林業政策、製材や建築といった関連産業、バイオマスエネルギー、その他森林に関連する市民生活や環境教育に関わる現場を視察します。

- ・ 期 間 : 2003年2月8日(土)~2月15日(土)[ストックホルム集合解散]
(日本出発2月8日(土)~日本到着2月16日(日)が可能です)
- ・ 募集人員: 15名 (最少催行人数 10名)
- ・ 視察内容: スウェーデン北方地方における持続可能な社会づくり(森林を中心として)
- ・ 言語 : 日本語(通訳 レーナ・リンダル)
- ・ 参加費 : 25,000SEK(スウェーデンクローネ)
 - * 参加費にはツアー中のスウェーデン国内移動, ホテル(個室可), 食事(アルコールをのぞく), その他視察に関わるものが含まれています。
 - * 換算レートは、支払い時(11月~12月)のものになりますので、各自で御確認ください。目安としては1クローネ12円で30万円、13円で32万5000円になります。
 - * 希望者には、スカンジナビア航空の航空券を斡旋価格で提供できます。
(ストックホルム往復 ¥82,000を予定しています。)
- ・ 申込締切: 2002年12月2日(月)までに、下記までご連絡ください。受け付け後に詳細案内、入金方法などをご連絡します。

主な視察先(予定): F S CおよびP E F S認証林, 製材会社, エネルギー公社(バイオマスペレット, バイオアルコール), 国立環境的持続可能性研究所, 国立農林大学, 自然保護協会, I K E A社(家具メーカー)など

- 主催 : 持続可能なスウェーデン協会
(Sustainable Sweden Association)
- 企画 : イーサム(ESAM)社,
レーナ・リンダル, 小寺昭彦
- アレンジ: イーサム(ESAM)社
- 協力 : スカンジナビア政府観光局

参加問い合わせ / 申込み: 小寺昭彦まで
(e-mail: a.kotera@stb-japan.com、または
TEL: 090-1838-0639)



ツアープログラム（予定）[は主な視察プログラム]

2/8(土) 各自ストックホルム到着
宿泊先：ストックホルム市内ホテル

2/9(日) **Stockholm 市**
「スウェーデンの木材文化の歴史的背景～スウェーデンにおける木造建築ガイドラインについて」：ノルディック・ティンバー委員会（Nordic Timber Council）
ストックホルム市街観光「17世紀の木造戦艦ヴァサ号の博物館見学」など
宿泊先：個室寝台列車（ストックホルム市からウーメオ市に移動）



日曜日で、行政、企業などが休みのため、市内博物館を視察してスウェーデンの木材の文化などの歴史的背景について予備知識を得ます。夕食後は、移動時間の節約もかねて寝台車にて約600km北のウーメオ市に移動します。

2/10(月) **Umeå 市**
「林業政策と法規制」：国立環境的持続可能性のための研究所（Swedish Institute for Ecological Sustainability、環境省の機関）

「森林に関わる教育」

1. 「森林環境教育」：スウェーデン国立農林大学
2. 「小規模農林業者のための教育」：林業管理委員会（国の機関）
3. 「学校の中の森」Haga 学校の生徒達

宿泊先：スカンディックホテルウーメオ

実質的な視察初日の導入講義として、北部の都市ウーメオ市にてスウェーデンの森林の概況と林業政策全般について説明を受けます。その後、スウェーデンにおける森林を活用した教育の現状について講義を聞く予定です。

2/11(火) **Vindelns, Ekorrsele**

「生産から最終顧客まで～FSC認証森視察」：SGS社、SCA社

自然体験：サーミ族のティピー風テントの中で食事（料理はトナカイ肉など）。その後、犬そりに乗って戻る。

宿泊先：Vindelns ホテル（そばのVindelns川は、スウェーデンに4つある開発から守られてダムのない川の一つです。）

この日はSGS社が認証した実際のFSC認証林を訪問して原木を視察して、次ぎの日の加工会社（一見の価値がある「スウェーデン木造の橋」の所有社の一つ）の見学につなげます。午後はアクティビティとして冬のスウェーデンの自然を体験します。

2/12(水) Bygdsiljum, **Skellefteå 市**

「生産から最終顧客まで」

1.Martinssons Trä 製材会社、環境認証を受けた製材所

2.Skellefteå 大工センター、約30の木材業界の小企業の協力体制

「ペレットボイラー用バイオ燃料の技術と開発」Skellefteå エネルギー社

宿泊先：Lövånger の教会村

バイオマスエネルギーの公社を視察するほか、木材業界の団体や森林組合組織などの担当者から話をうかがいます。宿泊先の教会村は、かつて各集落に教会がなかった時代に、まとまって礼拝を行えるように各農家が宿泊設備を備えた、いわば日本の門前町のような村です。スウェーデンの古い町並みを残して、それが使われているのを見ることが出来ます。

2/13(木) Umeå 市, Örnsköldsvik 市

「産業と市場：林業の副産物（バイオ商品）」：農林大学

「バイオエネルギーとバルト三国との交流」：Norra Skogsägarna 森林所有者組織

PEFS と ISO14001 により認証された製材所（PEFS は、大規模な企業が使う FSC に対して、中小の会社や自営業の人が使っている経済的な認証制度です）

「林業とその認証の見方」：自然保護協会のベステルボッテン県支部

「環境共生設備：グリーンゾーン」

宿泊：スカンディックホテル Örnsköldsvik

グリーンゾーンは、マクドナルド、フォード、スタットオイルなどの企業が共同で取り組んだ、環境に配慮したプロジェクトです。

2/14(金) Örnsköldsvik 市, Sundsvall 市

「未来の燃料は森から来る！ セルロースからエタノールを生産するパイロットプラント」：BAFF バイオアルコール財団

スズバル市のイケア社を訪問（ショッピングを含む）

宿泊：ストックホルム

バイオマス先進国スウェーデンでは、車の燃料も森林からとるプロジェクトが動いています。環境先進企業でヨーロッパ最大の家具メーカー I K E A 社のショッパは、生活スタイルを提案するスカンジナビアデザインの展示場ともなっています。この日で視察を終えて電車でスズバルからストックホルムへ戻ります。

2/15(土) スtockホルムにて解散。

注意事項：このプログラムは予定で、視察先に関しては先方の都合などにより変更の可能性があります。また、このツアーは現地集合解散のツアーで日本の旅行代理店は仲介していませんので、保険などには各自で加入していただく必要があります。詳細は、申し込み後に各参加者に御案内いたしますが、必要があればお問い合わせ下さい。